

【プロフィール】

- 会社概要 : ノートPC、デスクトップPC等の研究、開発、設計、製造、販売、企画、および保守・修理サポート
- 主な製品名 : FMV
- 従業員数 : 1,126名
- 所在地 : 神奈川県川崎市

安全保障貿易管理システム導入前の課題！？

- ✓ 海外グループとの共同開発や海外BtoCビジネスの増加に伴い、効率的で安全な輸出管理インフラの構築が必要…
- ✓ 該非判定データベースを自部門で属人的に管理・改修しており、エラー対応、メンテナンス対応で通常業務に多大な影響が発生…
- ✓ 法令改正に伴うマニュアルでの見直し作業による多大な工数及び確認漏れによる違反リスクの懸念…



S-ANBOU を導入することで
業務の効率化・コスト削減を実現できました

導入効果1



実際の業務に沿った
カスタマイズ対応

基本的な機能はS・安貿に備わっているが、独自のビジネス形態に則ったカスタマイズを施すことで、より効率的で安全なシステム運用を実現できました。

導入効果2



役割を明確に
作業効率アップ

担当部内でシステム管理の役割を明確かつオープンにすることで属人化を回避。システムチェックな部分はSICへ委託し、通常業務に影響を与えないようにしました。

導入効果3



法令改訂時の負担
軽減と抜け漏れ防止

法令改訂時の対応がなくなるだけで多大なメリットを享受できます。またシステムが自動チェックしてくれる為、ヒューマンエラー回避に繋がる仕組みを構築できました。

インタビューにご協力いただいた方



金子 憲司 様

生産革新統括部 輸出管理部長



神崎 匠 様

生産革新統括部 輸出管理部 マネージャー



S・安貿 インタビュー

Q. (アンケートにご回答頂きました) 皆様の組織・部門と役割について教えてください。

A. 輸出管理統括部門として、弊社内の安全保障輸出管理業務を適切に推進するため、法令に基づいた規程・細則の制定・行政庁に対する許可申請・該非判定/取引審査/出荷の各申請の審査、教育、指導を行っております。

Q. 安全保障貿易管理システムを導入（検討）しようと思った、きっかけを教えてください。

A. 2016年設立以来、弊社独自の輸出管理システムやツールを開発し利用しておりましたが、管理が属人的な点が問題でした。また、海外グループ会社との共同開発や海外ビジネスの増加に伴い、最新のユーザビリティに則ったシステムを利用する必要がありました。

Q. 導入前の課題について、3つ以上教えてください。

A. 効率的で安全な輸出管理インフラの構築、データ未連携による申請者・審査者の多大な工数、属人的な管理

Q. S・安貿をご採用いただいた”選定ポイント（決め手）”は、どんな点でしたか？

A. 弊社の安全保障輸出管理スキームとの高い親和性がありました。開発のリードタイムや社内ルールの変更等を必要最小限にするために、弊社の運用に合致していることが大きな決め手でした。

Q. 導入中に苦労された点はございますか？

A. 弊社がというよりはSIC様に苦労をかけてしまったことのほうが多かったと思います。短い納期の中で、社内ユーザーの要望をくみ上げ、迅速かつ柔軟にカスタマイズ対応をしていただき本当にありがとうございました。

Q. システムの導入効果を、定量的・定性的に幾つかお教えてください。

A. 該非判定・取引審査・出荷のデータが自動連携することで申請者側のマニュアル作業工数が大幅に削減され、マニュアル入力によるケアレスミスを防止し、審査の差戻にかかると工数を年間で約200時間削減することが出来ました。

Q. お気に入りの機能、又は期待以上に効率化が図れた機能はありましたか？

A. 外国ユーザーリストや懸念顧客等の照合を自動で処理する機能です。今までは各自がマニュアルで確認作業を行っていたため、工数削減だけでなく、確認漏れによる法令違反リスクを大幅に削減し安心して貨物輸出・技術提供が行えるようになりました。

Q. エンドユーザー様の反応（評価）は如何でしょうか？

A. 自社で開発したシステムはデータの蓄積量が増えるほど動きが遅くなってしまい、申請者・審査者双方でストレスを感じていました。S・安貿は膨大なデータの蓄積やアップロードであってもユーザーインターフェースに優れ迅速に処理できる点で各ユーザーから大きな評価を得ています。

Q. 同様の課題をお持ちのお客様へメッセージを頂けますでしょうか。

A. リスト規制品の輸出等を行う弊社は、経済産業省の定める輸出者等遵守基準を遵守しております。輸出管理インフラを構築し、安全かつ効率に運用することは、結果としてビジネスの利益向上にも繋がり費用対効果も大きいです。

Q. 最後に、今後S・安貿およびSICシステムに期待されることは何でしょうか？

A. S・安貿稼働後も定期的に打ち合わせをしていただき、迅速かつ柔軟に要望にご対応いただいております。今後は、安全保障輸出管理に係る外為法・EAR改正に則った改版だけでなく、年々厳しくなる貿易ルールに対応した出荷機能のエンハンスに特に期待しています。



■金子様、神崎様、ご回答いただき、誠に有難うございました。

株式会社SICシステム

〒140-0014

東京都品川区大井一丁目47-1 NTビル14階

☎ 03-6451-8140 (受付：平日10:00～17:00)

E-Mail: h-lizuka@sic-group.jp (担当：飯塚)

URL : <https://sic-system.co.jp/s-anbou/>